

新校舎落成並びに創立90周年を祝う 梧桐会総会開催

5月11日(日) 於・大崎高校



平成15年4月1日発行
発行所
梧桐会
事務局・東京都大田区新浦田
3-18-1-507 渡部良彦方
TEL/FAX 03(3730)8117
編集人 渡部良彦
印刷所 川村日正印刷(株)
印刷

揺るぎない力強さ

「都立大崎高等学校」



都立大崎高等学校長
星野 佳正

東京都立大崎高等学校は、この度、学校建築としては、日本で唯一の免震構造「七階建て・完全冷暖房」という、誠に素晴らしい校舎並びにグラウンドの完成をみることにできました。これまで、関係各位、取り分け同窓会の皆様には、一方ならぬご理解・ご協力をいただきまして、ここに衷心から御礼申し上げます。

ご挨拶



梧桐会 会長
川村 治

木々の緑が一段と眼に染みる季節となって参りましたが、梧桐会の皆様方には、如何お過ごしでしょうか。日頃より同窓会の活動に対し、暖かいご理解ご協力を

賜りまして、厚く感謝を申し上げます。さて、私達の母校都立大崎高校は昨年、新校舎の建築計画が九分通り完成を、日本の学校では初めてな

は、この点ご理解賜れますよう、本紙面をお借り致します。さて、改めて申し上げます。壮大な校舎の雄姿を正面から望むと、体育館の壁面高をまさに象徴するダイヤモンドを形どった校章が、案外と輝やいています。言うまでもなく、ダイヤモンドは、磨けば磨くほどに輝き、ひびく光をも反射させ、美しくその輝きを増します。校章のデザインの中は、大崎高校のオーラを表し、生徒間の友情、生徒と教師との深い信頼関係をデザインしています。勉強や部活動に、生徒同士が互いに切磋琢磨し、成長していく姿そのものの象徴とも言えます。九十年の永きにわたって、本校に連綿と受け継がれてきたこの校風は、時代を越えて、今でもいさゝかも揺るぐものではありません。

多様なご支援を賜りました事衷心より感謝申し上げます。尚、記念誌に付きましては、発行部数に限りがあります事から、本年の梧桐会総会にご出席の方にお配りしようと考えております。併せて現在、同窓会名簿の改訂版を総会までに間に合わせよう、事務局が頑張っておりますので、ご希望の方は是非申し込み頂きたいと存じます。さて今年の梧桐会総会は、「新校舎落成並びに創立九十周年」を祝う総会に致し

「2つのクツ」
昔 玄関先で
僕の新しいクツと
母親の古くて
ボロボロのクツが
並べてあった時
僕はそこで
何か大きいものを
母親からもらいました。
(作者 庭田 忠正)

平成十四年度卒業生 進学状況

進学
四年制大学合格者数
桜美林 1 大妻女子 2
神奈川 3 神奈川工科大学 1

鎌倉女子	3	関東学院	5
共立女子	1	杏林	2
敬愛	1	国学院	1
国士館	3	駒澤	6
駒沢女子	1	実践女子	1
淑徳	3	上智	1
湘南工科大学	4	昭和女子	1
女子栄養	1	聖徳	1
専修	5	第一薬科	1
大正	2	高千穂	2
拓殖	1	千葉工業	1
鶴見	3	帝京	1
帝京科学	1	東京経済	2
東京工芸	2	東京国際	1
東京情報	1	東京電機	1
東洋	1	東洋学園	1
二松学舎	1	日本	5
日本体育	1	文教	1
法政	1	武蔵野女子	1
武蔵野美術	1	明海	2
明治学院	4	目白	1
横浜商科	2	立正	15
短期大学合格者数	2		
東京都立短期大学	2		
警視庁	1		
(公務員)			

青山学院女子	1
亜細亜大学	1
嘉悦大学	1
産能	1
淑徳	3
聖徳大学	1
洗足学園	1
鶴見大学	7
東京家政大学	1
日本大学	1
文化女子大学	1
山野美容芸術短期大学	1
山脇学園短期大学	1
専門学校合計	88
(一般企業)	
(伊藤園)	1
(新聞総合社)	1
(マルニファニシング)	1
東レエンタプライズ	1
ピアホテル	1
ヒルトン東京ベイ	1
ヒロセ電機(株)	1
ヒロタ(株)	1

日 時 5月11日(日) 母の日
12時30分(受付開始)
13時~16時

会 費 2,000円
(新卒者は無料です)

プログラム
会長の挨拶
学校長の挨拶
その他



昨年の 同窓会 から



友情と自治の心

旧職員 中山 元
(50・60・70周年在職)

大崎高校定時制で、8年の勤務のあと、全日制に移ったのは、昭和33年、35歳の春でした。それから26年間、そのときどきに入學してきた生徒のみなさんと、楽しんで学び合うことができて、幸せでした。

この間、化学・地学の教員としてよりは、心をひらきあつて過ごした、担任としての生活が、大崎高校を最後に教職を去って、すでに20年が過ぎ去った私の頭に、懐旧の思いとして、残っています。



職員たより

思い出すままに

旧職員 宮本 哲夫
(60・70周年在職)

朝、今日は日曜日であることを確認した筈なのに、午後には、月曜日だと思ひ込んでいたことがよくある。漠然と日を送っている。涙脆くなった。しかし、気弱な体裁屋であることには変わらぬ。

介護の都合で、ここ数年、梧桐会の総会に出席することが出来ず、大崎は遠い国になってしまった。昭和三十年から六十一までの三十一年間勤めさせて頂き、多くの出逢いと別れ、また変遷があった。

大名屋敷を思わせる立派な校門を眺めながら着任したときの驚きを、今も思い出す。職員室は定時制と共用だった。仕切りを取り拂



つた三つの教室を会場として、式を執り行った木造校舎がなつかしい。六クラス編成だったものが、離任する頃は、八クラス編成となり、校舎も、木造であったものが色々変遷を経て鉄筋となった。

そして、職員室は定時制とは別々になり、学年別、教科別の職員室ができた。木造の別棟の管理棟があった頃、夏の暑い最中、職員室前の花壇サルビヤの真紅の花を、一心に写生していたH君を思い出す。

また、入学後間もないM君が職員室の窓越しに、迷い、を語ってくれた。木造校舎がすべて姿を消し、職員室が戸越公園に隣接する一

大崎高での生活のなかで、印象深く残っていることを、ひとつだけ、あげさせていただきます。前に書いたような気がしますが、もしダブっていたら、お許しください。それは、職場新聞「大崎サムタイムズ」のことです。昭和40年着任した伊藤憲二さん(英語は、すぐに「大崎サムタイムズ」の企画・編集・執筆を一手にひき受けて、大崎在任中の20年間に1200号まで出しました(ワラ半紙の裏面を使用しているの、折る気持でいっぱいです。校舎がばらばらと崩壊して、雲もかやき)では、土岐善磨作詞の校歌のなかの「友情のあふるところ...」とか、「たゆみなし自治のころよ」が頭から離れないのが、26年間過ごした大崎高の伝統の力かも知れません。

で、職場の風通しはよくない、強いて言えば生れ、まじり、でき上がった新聞は、一人ひとりに手渡しして歩き、その一号一号に職場での職員、生徒の生活ぶりが躍っていました。あらゆる職種をこえて、友情が深められていったように、思われます。

伊藤さんは、その後、小山台定時制を経て、教職を離れた。昭和67年3月に心不全のため50代の若さで他界されました。

大崎の職場で果した、「サムタイムズ」の力の大きさに、あらためて深い敬意を表します。

大崎高の、深い伝統に根ざしながらも、新しい時代に則した。友情と自治の心にあふれる、新しい発展を願っています。

「サムタイムズ」のおかげ

穏やかで、のんびりしていた頃

旧職員 石岡 康男
(60・70・80周年在職)

私は区立中学校二校と、都立高校三校と四十二年間の教員生活を六年前に終えました。その中で大崎高校には一九七〇年(昭和四十四年)から一九九二年(平成四年)までの二十二年間お世話になりました。私の教職生活の半分以上を大崎高校で過ごしたことになります。この二十二年間は、高学、道徳問題等さまざまなことがありました。その中で、今私の脳裏に浮かんでくるのは一九七〇年初めまで云った昭和の思い出をこめて、すべて「昭和」で表現しました。



めて大崎高校に一年生の担任として赴任した年のことです。当時は、まだ鉄筋四階建の本校舎がまだ一部しかできておらず、一年生の校舎は校庭の片隅にある木造二階建の校舎を使っていました。私達一年生の担任も出勤して職員室の出勤簿に押印すると、この木造校舎に移ってその第二職員室でも呼ぶべき場所での日を過ごすのでした。一年の担任と一年の生徒は、このような他とは独立した空間で生活を共有していました。

当時一年生は八クラスで、担任はA組が、石岡(社会)、B組は利根川先生(体育)、C組は若本先生(英語)、D組は宮本先生(数学)、E組は中山先生(理科)、F組は伊佐先生(英語)、G組は相原先生(社会)、H組は三谷先生(国語)で、中山先生が学年主任でした。

他と離れて独立した集団生活でしたから、お互いの生活を見て、高木先生が、先々お世話になるので見ておきたい、と火葬場に行かれた。その翌年、奥様より喪中のお葉書を頂いた。亡くなる前の夜、少量のビールを飲まれたお姿がご子息にあって、よい思い出になった、とお便りも頂いた。

最近、同じような夢を見る。窓下にサルビヤの花が咲いていた木造の職員室が思い出される。職員室に入り机を捜す。迷うこともある。同僚だった先生方が見られる時もあるし、知らない先生方が多い場合もある。時間

の好成绩だったのだなと思えます。先にも申しましたように、高校紛争の頃、道徳問題に揺れていた頃、と思いは数多くありますが、記憶には若干の誤りがあるかも知れませんが、穏やかで、のんびりしていた頃の大崎高校の思い出を書かせていただきました。

大崎高校の一層の御発展を念じつつ。

勤し昇降口に入ると、中庭のれんぎょうの花の鮮やかな黄色が、新学年を迎える気持への切り換えを促してくれた。新学期が始まると正面の二階への階段の辺りに、早々と登校した生徒の姿が見られる。お早ようございます、の明るく元気な声に、明るい気分になって

職員室に向かう。日直の日に、静かになった校舎内を巡回して四階の階段の窓のところに立つと、夕暮の空に富士山のシルエットがくっきりと見えることがあった。

新入生にとって、また、その担任にとって、桜吹雪の中に見た光景は忘れ難い。入学式の行事が終わった後、職員室前の芝生の外れにある藤棚の下で、母娘が買ってきた弁当を開き、花吹雪を浴びながら入学を祝っておられた姿が印象に残る。その藤棚の側で、同期の卒業生二人が結婚の報告をしてくれた。初夏のさわやかな日であった。また、その近くの土手に腰を下ろして、一時間以上も話をしてくれたY君が、卒業後、校門で出勤するのを待っていた。何か話があるのかと思っていたところ、顔を見たかっただけ。これから予備校に行くので急いでいる、と笑

って去って行った。それぞれの職員室・校長室、多くの教室で、また、クラブ活動、旅行先での出会いがあった。夏の朝の涼しい原宿駅のホームで、待ち合わせして、秋川に写生し出掛けた美術部の遠足、暑いグラウンドで、汗を流した陸上部の湯沢合宿など思い出される。湯河原温泉の滝の茶屋で、卒業生のS君から声を掛けられたこともあった。

Kさんは卒業を前にして、病室で、心の安らぎを求めながら静かに去って逝った。K君は人生の半ばで、沢山の思い出を残し、飄々と先逝っていった。学年主任をされた浜田先生から、再起を期す、との添え書きのある年賀状を頂き、お元気な印象の強かった先生らしいと思った。後日、奥様よりお便りに接し、何と、うかつだったか、と後悔した。桜島の油絵が飾ってある葬儀場

関係は親密で、例えば昼食は毎日三時限、四時限に授業のない教員が御飯を炊き、副食を作っていました。食材を買いに戸越の商店街に出かけることから商店街の人達とも親しくなりました。食事のことから急にトイレの話で恐縮ですが、この校舎は水洗ではなくて汲取り式だったので、時々生徒が財布を落としたりした時には、長い柄のついたひしやぐで汲み取るというやうなことをしたものです。

この校舎は、夏休みの一定期間閉鎖して殺虫剤を散布していましたが、古い建物でしたからあまり感じませんでした。だにでもいたのでしようか。この校舎の近くには校内売店があり、文房具などを売っていました。

このように小人数で独立した親密な関係にあった担任団でしたから、生徒の教科指導、生活指導も可成りこと細まかに行うことができたのではなかったかと思えます。形式的な学年会議などはなく、何かことがあれば、すぐに相談し合える状況にあったと思えます。また穏やかで、のんびりと過ごすことができた貴重な年月だったとも思います。

今、私の手元に、この学年が卒業した年の三年A組(四十七名)の進路の記録があります。それによりまず、国立大学は、千葉大(二名)、私立大学は、青山学院大、北里大、理科大、日大、神奈川大、独協大、武蔵大、成蹊大、中央大、營養大、明治学院大、昭和女子大、その他(十九名)、合計二十一名が現役で進学し、三井信託銀行、三菱商事、明治生命その他などに九名が就職しています。他の七クラスも似たような状況ではなかったかと思えます。特にあくせくと勉強したようには思えませんが、可成り

- 教職員の転退**
- 転出**
- 大平一男(教頭) 教育庁人事部
 - 村野浩之(物理) 小石川工業高校
 - 逸見由紀子(数学) 学芸大附属高校
 - 安部卓郎(事務長) 教育庁八丈出張所
 - 春島正剛(主事) 品川区立第一日野小学校
 - 岸川浩史(主事) 石神井養護学校
- 転入**
- 栗原健三(教頭) 大島南高校
 - 間辺三之(数学) 上野高校
 - 椋代すみれ(数学) 八丈高校
 - 木村豊(物理) 桜町高校
 - 美濃又清志(事務長) 松原高校
 - 窪谷友理子(主事) 大泉高校
 - 中山香織(主事) 下水道局
- 退職**
- 福井 祥(英語)
 - 田村秋雄(数学)
 - 稲垣誠一(嘱託)
- 訃報**
- 石塚重雄先生(地理・歴史) 昭和16年4月18日9月まで在職。平成15年4月10日逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

寄付のお願い

一口500円として、郵便振替でご送金下さい。同窓会の当日も受付けております。なお、今年はお卒の方のところへは払込取扱票に住所・氏名・会員番号を打ち出しておりますので、ぜひご利用下さい。

郵便振替 00170-0-614506 (加入者名 大崎高校梧桐会)

創立20周年時在校 ラジオで全国に流れた詩 「復員の船を待つ」

野村 タツ (昭和16年度卒)

この度は思ひがけず会報49号の原稿の依頼を受け、87才の呆けた血汐が逆流する思いでした。余生の力をしぼって思い出の糸を手繰って拙いペンを取ります。卒業して七十年、平和から戦争、そして戦後へときびしい時代を生きた私達。

懐かしい先生方や同窓の方は今頃何していらっしゃるでしょう。大和市の同級生村上さんに相談したら早速卒業写真を復写して下さいましたので同封致します。山口先生は九十三才で鳥取の娘さんの介護を受けていられますそうです。



昭和7年 (20周年目の卒業)

- 最前列 伊藤先生 川村校長 谷田先生 村田先生 山口先生
- 前から4列目右から2人目 村上さん
- 前から3列目右から3人目 野村さん



土産になるかと思ひ巡らせています。先輩や後輩のお話も今の中なら心がはずみまします。私の姉妹四人が大木家の四人娘として大崎高校で裁縫を習い、それぞれ嫁ぎ幸福でした。今は中の姉一人と私の二人だけです。世界中が戦争のない平和でありますように。皆様の御多幸をお祈り申し上げます。大崎高校の益々の御発展を心より願ひます。

復員の船を待つ
野村タツ(昭和16年度卒)

しづかに山に雲は出づつと
りりりと空は青くはなれど
志し大と来せし復員の船は
後方の船は八人一人一人
二三日の船は二三日の船
水は清くはなれど
心は清くはなれど
大崎の日はいつの日か
復員の船を待つ

「復員の船を待つ」(昭和21年NHKラジオ「婦人の時間」で放送)

創立60周年時在校 29年ぶりのクラス会

柴崎 康之 (昭和47年度卒)

在学中私はサッカー部に所属し、きびしく充実した毎日を送っていました。卒業後は独協大学に進学。その後、同級生であった妻と結婚し一男一女の親となり、現在は五反田で父(故人)の経営していましたが飲食店を継いでおります。

昨年二月、私が在籍していました三年C組のクラス会を卒業以来29年ぶりに



私の店で行わせていただきました。担任の石岡先生、石岡先生の御友達で当時私共も教えていただいた相原先生も出席してください。またハワイや北海道、京都など遠方からかけつけてくれたクラスメイトも大変盛況な会になりました。会の最中、先生とお話で担任当時の先生方より現在の私達

全くお変わりなくお若いのに大変驚きました。また、29年ぶりに再会した友人も多かったのに、同じ学校の同じ教室で学んだというだけで何のこだわりもなく心を通わせて話す事ができたのは、とてもうれし事でした。在学当時、私達は何を考え、悩み、何に反抗していたのかなど話は尽きなく、明け方近くまで話し合っていました。

大変充実した楽しい一日でした。それから、昨年は秋にもサッカー部OB会(年令が40代半ば以上の超OB会です)が催されました。当時は

創立70周年時在校 おおらかで 楽しかった高校生生活

田中 貴子 (昭和56年度卒)

大崎高校卒業後、気が付けば早20年余。月日の経つのは本当に早いものです。自習時間に学校を抜け出し、自由が丘あたりまで「郊

創立50周年時在校 入学の頃

和田 正江 (昭和27年度卒)



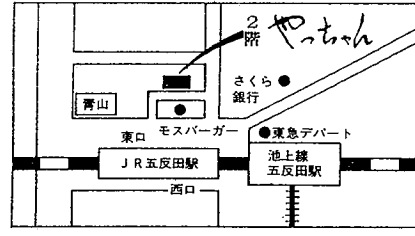
早いものです。卒業してから五十年が過ぎてしまいました。私の孫がもう高校生です。私達の同級生で「白鶴会」と云う会を作り、卒業以来年に一度集まってあります。その時だけは高校時代にもどって「ワイワイ」大騒ぎで若返って居ります。

南高校の校庭で、南雪谷・大崎と三校での試合が行われ、それぞれ懐かしい顔が揃いとも楽しいゲームになりました。その後大崎組は私の店で宴会を行い、旧交を深めました。

学生時代の思い出は三十年の月日が経ても昨年の事の様によみがえります。現在私は、地元の小学生のサッカーチームで監督として子供達の指導にあたり、サッカークラブで体験が原点になっている様に思います。チームの子供達が次々と大きくなり、社会人として活躍したり、また大崎高校のサッカー部員として活動している子供達もいたり、大変うれしいやりのある事だと思っております。

今回私は大崎高校創立60周年の年に在籍していたという事で、駄文を載せています。

カネ 酒蔵
ちやんちやん
柴崎康之
〒141-0022 東京都品川区東五反田1-13-6 2階
TEL 03-3449-0696



マナーを守りましょう！
おとめ◎しの (平成X年度卒)

私はスーパのレジのバイトをしています。お客様の中には、感じのいい方もいれば、嫌いな方もいます。嫌なお客様の中で特に嫌なのは、マナーの悪い方です。

スーパにとってお客様は大事ですから、金銭受授の際、携帯で話している等多少マナーが悪くても我慢出来るのですが、度を越した方もいらっしゃいます。こちら側が一方的に受けとめる事しか出来ないという事、些細な事で文句をおっしゃる方がいます。こちらの不手際であれば仕方ないのですが、どう見てもストレス解消していると思えない様な事をおっしゃるのです。

私が経験した一番嫌いだっただお客様は、まだ実習生マークを名札につけていた

- 新幹事(14年度卒)**
- A 坂下 祐矢 佐藤 涼子
 - B 中川 麻利子 吉永 泰樹
 - C 大島 陽介 山崎 悠里
 - D 久保田 匠子 福田 竜一
 - E 小林 千夏 中村 雄毅
 - F 黒沢 祐介 吉原 聡美
 - G 中鉢 雅貴 中山 綾夏
 - 佐々木 あさひ



達是非常に迷惑です。そういうのは人形相手にやって頂きたいです。感じのいいお客様には、おせっかいな位サービスしなくてはなりません。ご来店頂けるだけで嬉しくなります。自分から人からされて嫌な事は人にはしない、人からされて嬉しい事は相手も嬉しい。人間として最低限のマナーと常識だと思います。店員もお客様と同じ「人間」です。マナーを守った買い物をして頂きたいです。(筆者のたつての希望によりペンネームとさせていただきます)

改築工事を振り返って

前改築委員長 山田 進

計画道路予定地に軟着陸をした大崎高校

この大崎高校の敷地内の道路計画は昭和二(一九二七)年に誕生。二十一年には戦災復興計画の一部として都市道路計画都道二十六号線が決定。二十五年西大崎から現在地に移転。四十年頃、地元住民による「道路促進同盟」が結成された。四十四年に生徒会の五項主要求をきっかけに四十五年からの歴代校長を先頭に「大崎高校の教育環境確保」の陳情や請願を重ねる中で学校の提案を出すのが地元は拒否。六十二年、戸越四・五

「大名門」が正門として使用された理由

越前松平家宿井藩主の神田橋にあった江戸中屋敷の門は、明治時代に大蔵省の表門となるが、道路拡張に伴って廃棄解体されるとして三井家が払い下げを受け、戸越の別邸の表門として再建された。その後昭和二十五(一九五〇)年、三井不動産が本校に寄贈し、

ひとことがみんなに伝わる通信欄

払込取扱票通信欄から(14年5月〜15年3月)

()は卒業年度

5月分▽ベトナム在住早5年になります。元気にしております。飯塚 正(50)母の日は近づくと、大崎高校の事を思い出します。早や40年余りの月日が過ぎ、遠い昔の思い出です。桜井節子(36)▽48号の会報に載った感激ノ 岡崎一郎(37)▽創立90周年おめでとうございます。実家が中延でしたが、家も手離しましたので、母も遠くなりました。1年しか在籍しませんでした。1年しか青春の思い出がいっぱいで

存している。ところで、「大崎高校の敷地の真ん中に計画道路が通る。このようにならざるを得ない」とおっしゃる。工事着手するこ

パブル経済崩壊のなかで

①産業廃棄物は自校で処理を。基礎工事に伴う残土の処理には頭を悩ませる。それは産業廃棄物の不法投棄によって環境への影響が大きな問題となり、工事残土の処理も難しくなってきた時期でもあった。人工地盤の基礎としてA棟の基礎を残し1階部分を利用することになった。また、A棟とB棟で解体されたコンクリートのガラと金属部が分類され、後者はリサイクルの下に埋設された。これによって建設経費が幾分か節約できた。

②都道二十六号線の上に乗せられる人工地盤

平成十(一九九七)年七月五日の都道二十六号線のトンネル工事説明会、同年八月二日の人工地盤工事説明会出席をされた近隣の方々から、六mの高さに嵩上げされる人工地盤の北西側の壁

③幻と消えた映像システム

当初の設計では、舞台脇のタッチパネル操作台でVTR、CD、DVDの映像や音響が操作できる映像システムになっていたが、パブルの崩壊によって初年度

大崎は遠くになりけりなの

ですが、「あおぎり」会の名称が昔のままなのは嬉しいことだと思います。毎年のクラス会には7〜8人が集まっています。来年は新しくなった母校で集まりたいですね。寺島静江(14)▽かつて一人暮らしをしていて、実家の母が、昨年急に入院。あつという間に、要介護5の寝たきり老人になりました。自分の生き方や老後のことなどを考えています。中野真理子(45)▽今年も会報をなつかしく拝見させていただきます。創立90周年、新校舎落成、心より母校の

昭和25年度(26年3月卒)同期会のお知らせ

日 時 平成15年5月11日(日)
場 所 第一次会 同窓会会場
第二次会 同窓会終了後移動します
幹 事 住田、宮田、奥

最後に大崎高校は、計画道路上に軟着陸をしたがゆ

土屋星児氏(平成2年度卒)

優秀なバーテンダーが集結する
コンペティションで準優勝!

えに地域の逆鱗に触れたが、地域にねぎす学校づくりを目指したことにより、品川区民にとって積年の思いであった都道二十六号線が実現し、大崎高校は全国でもまれな「免震構造」の校舎に生まれ変わった。これまで、地域の方々の協力、無事故・無災害を通じた建築・建設関係の方々、道路問題・改築に関わった諸先輩方に感謝する次第です。また、工事中の生徒の協力にも感謝しています。(大崎の九十年から)

梧桐会事務局からのお知らせ

梧桐会事務局が平成14年4月1日、下記へ移転しております。
〒144-0054 大田区新蒲田3-18-1-507 渡部良彦方
TEL/FAX 03-3730-8117 (常時留守電となっております)
お電話で住所変更のご連絡をいただく場合、以下の項目をお願いいたします。
①卒業年度
②会員番号
③氏名(旧姓も)
④旧住所(念のため、電話では省略可)
⑤新住所(郵便番号から)
⑥(新)電話番号(こちらからご連絡することもあります)
の5点です。電話では以上のことを留守電に入れて下さい。郵便もしくはFAXの方が文字・数字に関する誤りが少ないと思いますので、よろしく願います。
※払込取扱票の住所・氏名・会員番号は事務局で打ち出しました。字の間違いなどございましたら、至急ご連絡下さい。5桁(旧職員は4桁)のナンバーは、会員番号です。
※最近、留守電に「無言電話!」がとても多く、大変困っております。留守電に録音するのが苦手でしたら、せめてお名前と電話番号だけでも入れてください。こちらから折り返しお電話致します。

梧桐会名簿発行について

おととしから、「梧桐会名簿」改訂版発行のお知らせをさせていただき、現在数十名の方からご注文のお振込み並びにご予約をいただいておりますが、ようやくこの春、発行のはこびとなりました。総会当日、会場にてお披露目となる予定ですが、なにぶんにも会員からお預かりした限りある予算の中から作成するため、製作に関しては苦勞しているしだいです。ご注文もまだまだお受けしております。この機会に是非ご購入いただき、同期会や、旧友との連絡等にご活用いただければ幸いです。
ご注文には、同封の払込取扱票に名簿希望と書いてお振込みください。発送準備が出来た、順次お送りいたします。
1冊2,500円(送料込み)です。前号では金額を入れ忘れ、ご迷惑をおかけしました。
お問い合わせは梧桐会事務局(右記)まで。

編集後記

◇4月21日(月)午後8時55分、昨年とほぼ同ペース。ようやくの編集後記である。
◇毎度のことであるが、本号も原稿依頼が大幅に遅れ、学校に原稿依頼を行ったのも4月10日。ぎりぎりにならないと動こうとしない自分を責めてあげたい(なんだから)。全ての原稿が揃ったのはきょうの昼頃。でも、便利になったのね、「メールで送って」で来ちゃうんだもんね、原稿が。行き違いもある。アドレスに「h」が抜けているだけで、来ないのよ、これが、ハハハ！
◇90周年行事が縮小となつてしまつたが、本号では職員だよりで周年行事を何度か経験された(と思われる)先生方に昔を振り返っていただいた。中山・宮本両先生に至っては、私が生まれる前から、大学を卒業してもなお教壇に立たれていました。まさに、大崎高校の生き字引ですね。これからもお元気で過ごしてください。また、会員だよりでも、20・50・60・70周年と、当時在籍された方々に当時の思い出等をご執筆いただきました。
◇小4の二男が2年生の時、野球を始めました。昨年その監督から直々にコーチになつてくれと言われ、固辞するつもりでしたが、われわれの少年の頃の、熱い夢を語られ、また、君にピツタリのユニフォームがある(因みに私は皆からデブと言われている)との甘い言葉に誘われ、自分の健康も考えた上でOKしました。西六郷のグラウンドで日曜日に太った人間を見つけたら、私だと思ってください。
◇今年の梧桐会総会には、是非お誘い合わせのうえご出席ください。何か良いことあるかも。(なべちゃん)